

事業所名

障害児通所支援事業 児童発達支援 もあに

支援プログラム

作成日

2025年

11月

1日

法人（事業所）理念		障害を持つ本人が生きがいを持ち、安心して自立した生活を送ることが出来る地域社会づくり			
支援方針		将来を見据えた支援を考える。小集団の中での成功体験やスマールステップで課題に取り組み達成感を味わい、見守られている安心感を得ながら自己肯定感の高い人を目指す。家庭・園・他事業所などインクルージョンの視点を踏まえ、関係機関との連携を図り、情報交換を行うことにより個性を活かした活動に結び付けていく。			
営業時間		9時30分から17時30分迄	送迎実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし ※要相談
支 援 内 容					
本 人 支 援	健康・生活	健康状態の把握や基本的生活スキルの獲得を支援する。 健康チェック・記録 日常生活能力向上させるための訓練：排泄・更衣（衣類の着脱）・靴の脱ぎ履き・歯磨き・手洗い・お手伝い（洗濯たたみ・食器運び・掃除等）			
	運動・感覚	運動能力・動作の基本的技能の向上を支援する。 遊びや活動の中で粗大運動や感覚遊び（バランスボール・平均台・トランポリン・ハンモック・ストレッチ・散歩・ダンス・粘土・音楽遊び等）			
	認知・行動	適切な認知と適切な行動の習得を支援する。 手先の操作・目と手の協応・時間や数の概念・文字・色・身体部位・図形・お絵描き・ビジュアルトレーニングに関するプログラムを実施。スケジュールと時間の視覚化。			
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションの基礎的能力の向上・言語の受容と表出を支援する。 カードを用いての言語の習得と表出（イラスト・写真・シンボルカード）・ジェスチャー・サイン・手話・言語に関するプログラムを実施。 朝の会・終わりの会（気持ちの表出・コミュニケーション）			
	人間関係 社会性	他者との関わり（人間関係）の形成・遊びを通して社会性の発達を支援する。 手順やルールのある小集団活動や遊び・役割分担のある協同遊び・見立て遊びやごっこ遊び等の象徴遊び 等			
家族支援		支援内容についての説明、参観の機会の提供、保護者同士の交流の機会の提供、児童の発達・特性に関する状況・成果の報告や相談・助言、福祉制度に関する相談・助言・勉強会の実施、必要に応じて集団または個別に事業所での面談を実施	移行支援	移行期の修学前児童（5歳児）の学校生活に向けての指導や移行先への情報提供・園や関係機関との連携	
地域支援・地域連携		児童が通園する園や支援センター・相談支援事業所との連携体制を取り、必要に応じて情報共有、児童が通園する園等への訪問や関係機関との会議に参加し児童の心身の状況や生活環境等の情報を共有	職員の質の向上	定期的な会議、職員会議の実施 職員の各種勉強会や研修への参加	
主な行事等		季節の行事（ハロウィン、クリスマス、水遊び、雪遊び） 季節の制作活動 年2回の保護者会 年1回の親子活動（兄弟参加含む） 年1回の事業所全体のイベント			